



就業力育成への
主体的取り組みについて

～キャリア年間計画表を通じた
自分発見への挑戦～

2011/07/01

就業力GP・FD講演会

キャリアセンター

本日の内容

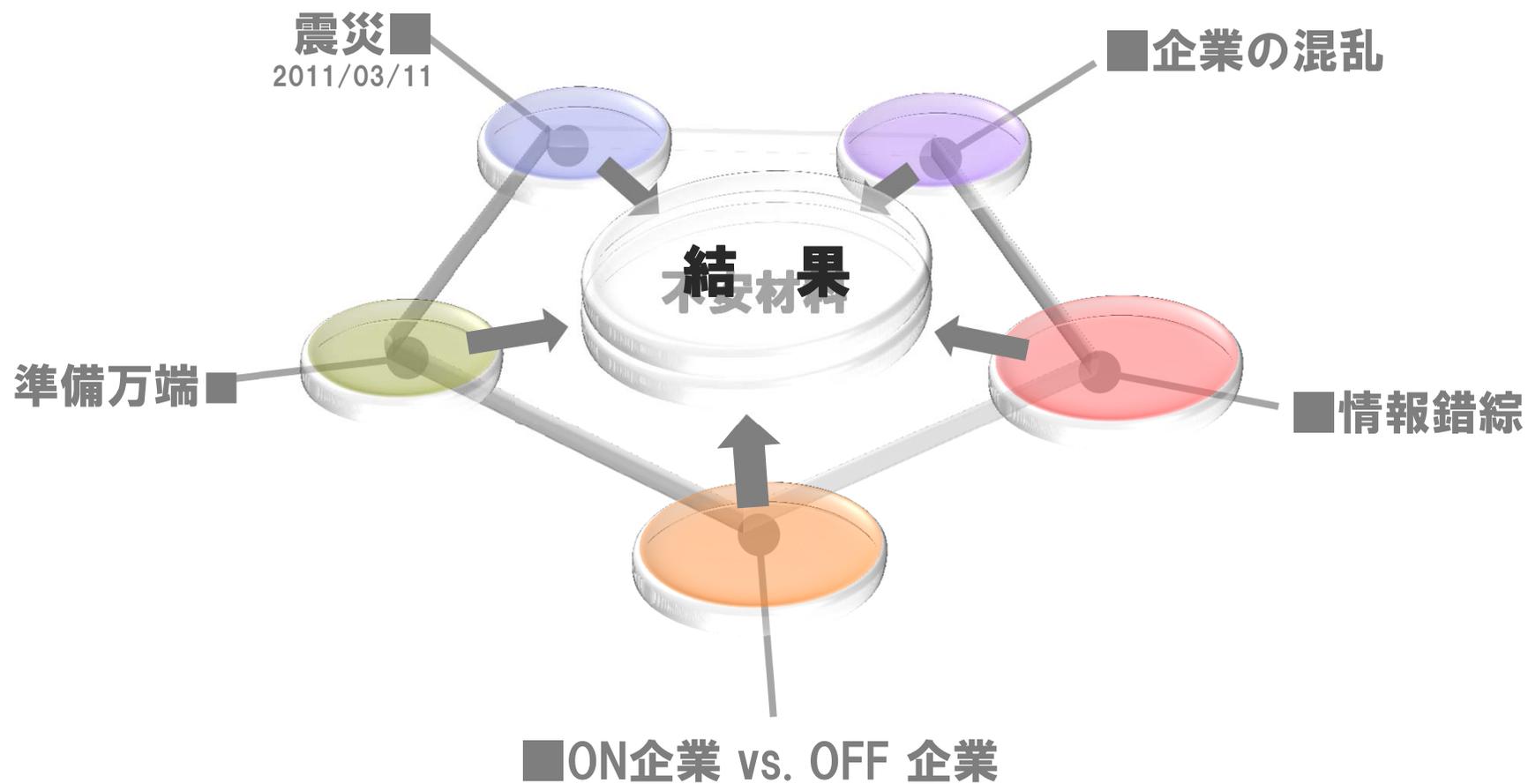
1. キャリアセンターの活動状況

2. 工学スタートアップセミナーから

3. キャリアガイダンスから

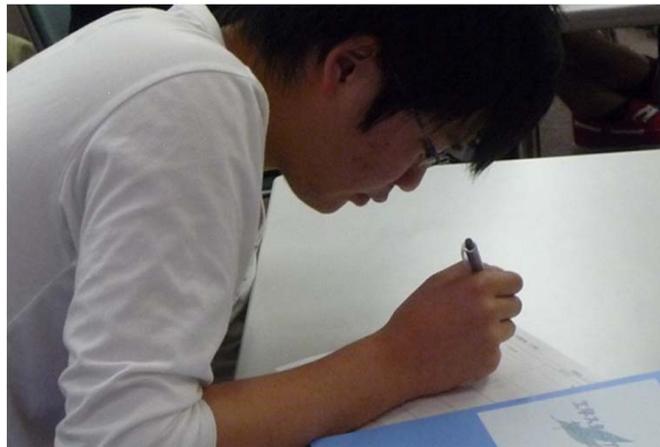
4. 主体的取組みへのアプローチ

キャリアセンターの活動状況



工学スタートアップセミナーから

自分発見～私はこうなりたい～



キャリア年間計画表のねらい(B1)

項目	4月に記入	
	年間計画	達成するための前期目標
寮生活		学生生活の基盤を確立するために不可欠なものとして自らの責任で生活をマネジメントすることの必要性を理解すること
学習スタイルの確立		特に寮生活独特の利点を活かした学習法について獲得することで今後の学習をスムーズに進めていく
研究室への道		工学基礎科目のスタート時点での躓きを軽減するために、研究とのつながりを意識することで取り組みの動機付けとする
国際的視野		海外も含めた広い視野をもって活躍する人材となるために不可欠な国際的視野を持つために必要とされる準備に取り組む意識をもつ
あなただけの		様々な機会を捉えて多くの体験を経ることで、自分らしく生きる楽しみに目覚めることでより充実した学生生活とすること

キャリア年間計画表の活用(B1)

学生生活の基盤を確立するために不可欠なものとして
自らの責任で生活をマネジメントすることの必要性を理解すること

何をしたか
何ができにくかったか
どうしたら目標に近づけるか

工学基礎科目のスタート時点での躓きを軽減するために、
研究とのつながりを意識することで取り組みの動機付けとする

どこがわかったか
どこがわかりにくかったか
解決策は何か

キャリアガイダンスから

自分発見～私はこう頑張ってきた～



キャリア年間計画表のねらい(B2)

項目	4月に記入	
	年間計画	達成するための前期目標
工学基礎科目		基礎科目の取りこぼしは致命的になる 得意分野の確認 不得手分野の自覚 克服のための努力の道筋をつけ自分の求める姿に近づくための阻害要因を排除する
専門科目		工学基礎科目の裏づけをもとに意欲をもって取り組む必要性があることを自覚し 注意深く丁寧に取り組んでいくことの必要性を強く理解する
専門分野の絞り込み キャリアプラン		研究の内容を具体的に思い浮かべることで、自分は今後何を求めて行きたいかの 目標を掲げて取り組むことが自らがより輝く姿に近づく手段であることを意識する
世界を見通す広い視野・ 国際性		海外も含めた広い視野をもって活躍する人材となるために不可欠な 国際的視野を持つために必要とされる準備に取り組む意識をもつ
あなただけ らしさ		様々な機会を捉えて多くの体験を経ることで、自分らしく生きる 楽しみに目覚めることでより充実した学生生活とすること

キャリア年間計画表の活用(B2)

基礎科目の取りこぼしは致命的になる 得意分野の確認 不得手分野の自覚
克服のための努力の道筋をつけ自分の求める姿に近づくための阻害要因を排除する

得意分野をなお伸ばす
不得手分野が不可能分野にならないために
出来ることの中から探すのではない将来

研究の内容を具体的に思い浮かべることで、自分は今後何を求めて行きたいかの
目標を掲げて取り組むことが自らがより輝く姿に近づく手段であることを意識する

研究室についての情報収集
どんな分野についての学びに興味をそそられているのか
工学意欲をもって取り組むために

キャリア年間計画表のねらい(B3)

項目	4月に記入	
	年間計画	達成するための前期目標
専門科目		基礎科目を含め、B1・B2における成果を確認し、苦手分野の克服を図る 自分の求める姿を現実のものとするための道筋を自分なりに組み立てる
キャリアプランの明確化		自らの求める自立した社会人になるためには、進路を明確にする必要が生じる 学部卒・修士進学いずれにせよ、目的を持って選択する必要があることを自覚する
学外実習		産業人としての自立を視野に入れて、企業において働くことの意義を実感する 自らの将来像のために何を学ぼうとするかを明確にしてその成果を検証する
世界を見通す 広い視野・ 国際性		国際的な広がりを持った工学的取組みに対する興味や関心を持つ 自らの研究をストレス無く外国語によって説明し理解させるスキルをもつ
あな たさ		学生生活を通して、自らの特性やよさを想起させるような体験を重ね そのエピソードをより分かりやすく伝えることの必要性を理解する

キャリア年間計画表の活用(B3)

自らの求める自立した社会人になるためには、進路を明確にする必要が生じる
学部卒・修士進学いずれにせよ、目的を持って選択する必要があることを自覚する

なぜその進路を選ぶのかの説明が出来る選択
※キャリア形成にとって必須

産業人としての自立を視野に入れて、企業において働くことの意義を実感する
自らの将来像のために何を学ぼうとするかを明確にしてその成果を検証する

学外実習への取り組みの大切さの確認
自立した産業人への足がかり

学生生活を通して、自らの特性やよさを想起させるような体験を重ね
そのエピソードをより分かりやすく伝えることの必要性を理解する

自らを他者により適切に示すための手立て
他者の目を意識するということ

主体的取組みへのアプローチ

- 自立型人材の育成に向けて

